【樹木の部屋】

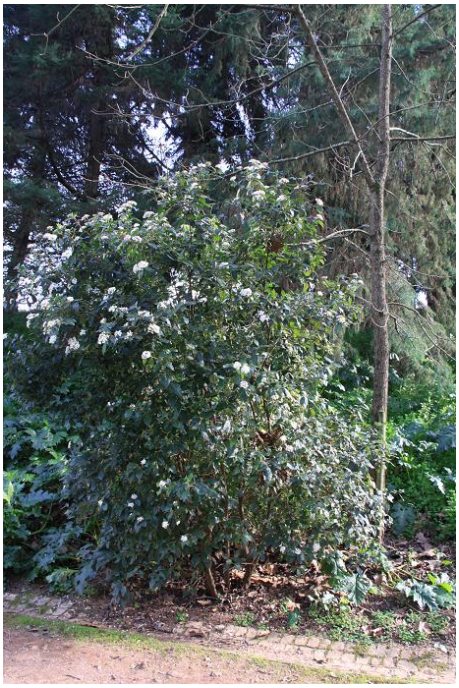
トキワガマズミ（レンプクソウ科ガマズミ属　Viburnum tinus ）

和名：トキワガマズミ（常盤莢迷）　　別名：ビバーナム・ティヌス

英名：Laurustinus

マツムシソウ目　常緑低木　　原産地：地中海

花言葉：茶目っ気、誓い、私を見て　　花の色：白



← 写真-１　トキワガマズミの樹形
撮影日：2019 年 02 月 21 日
撮影場所：コインブラ(ポルトガル)にて
撮影者：M　さん

↘ 写真-２　トキワガマズミの小枝
撮影日：2019 年 02 月 21 日
撮影場所：コインブラ(ポルトガル)にて
撮影者：M　さん

↓ 写真-３　トキワガマズミの花
撮影日：2019 年 02 月 21 日
撮影場所：コインブラ(ポルトガル)にて
撮影者：M　さん

← 写真-４　トキワガマズミの蕾
撮影日：2019 年 02 月 21 日
撮影場所：コインブラ
(ポルトガル)にて
撮影者：Ｍ　さん

コインブラ(ポルトガル)で昼食に立寄ったレストランの庭で見かけました。
葉は楕円形～卵形で色は深緑。対生で全縁。枝先に集散花序を伸ばし、ラッパ状で先端が 5 裂する小さな白い花をたくさん咲かせ、秋になると卵円形の青紫色の実ができます。
葉はドライフラワーに、果実は生け花や切り花に利用されるそうです。
樹形は自然に整うので、込み合った枝を剪定して、姿を整える程度。日向～半日陰と水はけの良い土を好み、寒さにも強く関東以西は地植えで越冬します。挿し木で、増やすことができます。

＜ちょっと一言＞

＊集散花序
最初の花は軸の先端につき、その下から出る側枝に次の花をつける。これをくり返して次々に花がつきます。